



662-0833 西宮市北昭和町3-20 TEL&FAX 0798-65-4303 携帯 080-3138-4164

Eメール soshisha@f6.dion.ne.jp ホームページ <http://amenity2000.la.coocan.jp/>**お知らせ**

- # 春季ナショナル・トラスト展 4月28日(土)～5月6日(日) ヴォーリズ六甲山荘
- # 2018年上期セミナー第2回 5月12日(土) 草志舎
- # 2018年度総会 5月19日(土) 草志舎
- # 畑儀文の合唱教室 5月21日(月) 草志舎
- # ヨーロッパ文化遺産をめぐる旅～スイス・オーストリア編 5月30日(水)～6月7日(木)
- # ヴォーリズ六甲山荘購入10周年記念会 7月14日(土)

2018年度の通常総会

総会は私たちの活動のこれまでとこれからについて考え話し合う大切な場です。会員ならどなたでも参加できます。2018年度は次のようにひらきます。ぜひご参加ください。ご案内はこのアメニティ便りに同封あるいはメールでお届けします。出欠のお返事と、**正会員で欠席の場合は委任状をお送りくださるようお願いいたします。**

総会のあとつづいて交流会もいたします。こちらにもぎやかに楽しみたいと思います。

また会場の草志舎には皆さんの作品をかざります。写真、絵画、書、工芸・・・皆さんの日頃の丹精された作品を出品してみませんか。皆さんのご参加お待ちしております。

日時 5月19日(土) 午前10時半 場所 草志舎 交流会参加費 1500円

ヴォーリズ六甲山荘購入10周年記念行事～ヴォーリズ六甲山荘にて

ヴォーリズ六甲山荘を購入したのが2008年、それから10年がたちました。そのことについては総会にあわせ発行するアメニティ・レポートに詳しい記事を掲載します。10周年を記念する行事をつぎのように開催します。開場はいつでも六甲山荘です。

☆ナショナル・トラスト展

当協会が手本とする英国ナショナル・トラストやナショナル・トラスト運動について写真を中心にわかりやすく解説します。

春季 4月28日(土)～5月6日(日) (期間中は平日もオープン)

秋季 9月15日(土)～17日(月・祝) 22日(土)～24日(月・休)

☆記念会

記念プレートのお披露目かねて六甲山荘で記念会を開きます。会員はもちろん、これまでお世話になった方々をお招きして、ミニコンサートなどで楽しいお祝いの会にしましょう。

日時 7月14日(土)午後2時～



第2回ナショナル・トラスト研究奨励賞 発表!

2017年度のナショナル・トラスト研究奨励賞受賞作は次にきました。

題名: 「公益信託の見直しに関する中間試案」とナショナル・トラスト活動における公益信託の利用について

筆者: 澤田悠紀氏、武田智行氏の共同論文

澤田氏は研究者、武田氏は弁護士で、ともに一般社団法人 Japan Heritage に所属しておられます。(澤田氏は代表理事、武田氏は理事)

審査の結果、公益信託の制度の見直しにナショナル・トラストを活用するという優れた提案と認められました。5月19日の総会で表彰され、論文要旨はホームページに掲載されます。

ご報告 マーマレードづくり 3月6日(火) 草志舎

甘夏の香りが草志舎に満ちて、春の訪れが実感されます。10キロの甘夏ですが、みんなで作業するので一日で瓶詰めまでできました。皆さんからいただいたガラス瓶で約70個のマーマレードができあがりです。

2018年度セミナー<足跡を探访するⅢ>

主催：文化遺産継承協議会

2018年度のセミナー前期は「足跡を探访するⅢ」というテーマでお送りします。講演と懇談で会場は5月、6月、9月は草志舎、7月は東京です。

日程	5月12日(土)	「ヴォーリズ六甲山荘の10年」	講師	清水順子
	6月23日(土)	「吹田での旧庄屋敷の保存と活動」	講師	松岡要三
	7月22日(日)	「ナショナル・トラスト」(東京)	講師	山本真紗子
	9月8日(土)	「ヴォーリズさんの設計室Ⅱ」	講師	石田忠範

時間はいずれも14時から

関西	・定員	20名を目途とする。
	・会場	草志舎
	・参加費	(1回) 会員1,500円 一般2,000円
東京	・定員	25名
	・会場	自由学園明日館(豊島区)
	・参加費	会員1,500円 一般2,000円 (予定)



詳細は同封の案内チラシあるいはホームページをご覧ください。なお東京の案内は後日お送りします。

ご報告 弥生の茶会 3月11日(日) 草志舎

風のないおだやかな日で、枝垂れ梅も満開。草志舎の庭で野点を楽しんでいただきました。こうした静かなひとときもいいものです。



ご報告 五島列島教会をめぐる旅 3月14日(水)~17日(土)

大変有意義な旅でした。高橋弘一氏(新上五島町教育委員会文化財課・世界遺産推進)が後半の行程を組み、2日間同行してくださり、教会群についてだけでなく、五島の歴史、暮らしなど熱く語ってくださって、参加者一同感銘をうけました。詳しくは下記の三人の方の参加記をご覧ください。

<参加記>

五島キリシタンと教会を訪ねる旅 一日目

澤村典子

コブシの花や菜の花が、島に春の訪れを告げ始めた3月、五島列島の教会を巡る旅に行ってきた。85歳の母と妹を誘ってのアメニティの旅、初参加だ。

3月14日夜、博多港をフェリーで出発、翌朝、五島列島南の福江島に到着。初日、そこから北へ久賀島、若松島へと教会めぐりが始まった。

五島と言えば「隠れキリシタン」の地である。正確には、キリシタン弾圧時代にキリスト教信仰をひそかに守っていた信者を「潜伏キリシタン」と言い、禁教令が解かれたあとも、潜伏時代の信仰スタイルを続けている信者を「隠れキリシタン」と言うそう。最初に訪れた堂崎天主堂は現在、キリシタン資料館になっていて、潜伏キリシタン時代のマリア観音や祭礼道具、踏み絵などを見た。

昔、学校で、厳しいキリスト教禁教弾圧の歴史があったことを学んだ記憶がある。が、明治に入ってもなお厳しい迫害が続いていたことは知らなかった。なんと、信教の自由が訪れたのは明治6年のことで、久賀島の牢屋の殉教記念教会はまさに、明治政府に投獄され殉教した牢屋の跡地に建てられた教会堂だ。ほんの数世代前にこんな悲しい歴史があったなんて…。美しい海を臨む山地には殉教者の墓が静かに並んでいた。この土地も山も海もその歴史を記憶し続けてなお、今あるのだと肌で感じたのだった。



解説をする高橋氏(中央)



堂崎教会堂

福江島の自然もすばらしかった。島中に椿の花が咲き乱れ、海の水は底まで澄み切っていた。椿の実から絞った椿油は五島の特産になっている。教会のステンドグラスには赤い椿が描かれ、また別の教会では天井や柱に描かれていた。宿の畳の縁にも椿が刺繍されていた。

この夜、翌日から案内、同行してくださる新五島町文化財課の高橋弘一氏が、五島の多くの教会を設計した鉄川與助と上五島について講義して下さった。260年にわたり宣教師がいない中で、キリスト教信仰を守り通した人々の信仰も含めて世界遺産登録に値する奇跡的なことだとおっしゃっていた。ただ、この気の遠くなるような忍耐の上に建てられた教会堂も、村の過疎化により風前の灯となっている。命を懸けて守り抜いた信仰と教会を継承していくためにどうすればいいのか、他人ごとではなく考えさせられた。

旅の途中で母は86歳の誕生日を迎えた。アメニティの皆様にご祝福いただき、私たち親子の一生の思い出に残る旅となった。

五島の旅 二日目

森田和子

前夜の激しい雨も治まり強風の中、貸切バスで若松島より中通島へ。新上五島町文化財課の高橋氏の懇切な解説とご案内で、260年の潜伏期間信仰を守り、禁教が解けた後、信徒の方々が集落に自らの手で建てた美しい個性的な教会を9つ巡りました。印象的なのは、若松大浦教会。民家を教会にした簡素な佇まい、信徒の手になる内装、日本女性顔のマリア様が安置され、安らぎを感じる空間でした。

中ノ浦教会は赤い椿の装飾が可憐な木造、入江に面し水鏡の教会とも言われます。地元出身の大工棟梁、鉄川與助の建てた最初の木造の素朴な冷水教会、八角ドームと塔のある大曾教会と重要文化財の青砂ヶ浦教会は煉瓦造で、リブヴォールトというコウモリ型天井、ステンドグラスも素晴らしい建築。西洋建築を学んだ訳でなく、フランス人神父の教えを受け、研鑽を積み、仏教徒ながら信者の心に寄り添う教会作り、昭和初めにコンクリートの小学校を建てた事も同時期のヴォーリスとどこか通じます。



江袋教会

江袋教会は明治15年築の最古の現役教会で外観は木造瓦屋根の素朴な民家、リブヴォールト、三廊式の立派なものですが、2007年消失。木の構造体は強くそれを生かし、焼け残った柱や梁を残し工夫を重ね3年をかけて修復、復活した教会。修復に携わった高橋氏の熱い解説に感銘を受けました。

バスの車窓からは美しい海岸線、自然、椿の花、多島美を臨み、歴史ある教会にすっかり五島ファンになりました。海岸沿いに漁業を生業とする仏教徒集落、急斜面に石垣を作り点在して段々畑を作るキリシタン集落がはっきり分かれた景観は歴史、暮らしそのもの。五島の教会は今も地域に根付き、生活の一部として集落に同化した祈りの家でした。

私たちは御朱印帳ならぬ巡礼手帳にスタンプをいただき拝観しました。夜は眺めの良いリゾートホテルで温泉と美味しい夕食を楽しみました。

「祈りの島 五島から長崎へ」 川上 篤子

3日目の最終日は、中通島を回ります。今日も案内は高橋さんです。まず向かったのは「鉄川與助居住跡」。五島の教会建築の父と呼ばれた鉄川氏のお宅跡は海の近く。大正6年築のレンガ塀が残っています。石造りの階段を3段上がった敷地内に、鉄川氏の生涯や主な建築物などを紹介した説明パネルがいくつか立てられています。レンガ土台のお台所の流しや、お庭の痕跡が。大きな陶器の甕は、何に使ったのかしら？と興味深く見学しました。

バスの車窓から「元海寺（鉄川氏の菩提寺。彼が設計したレンガの山門）」を見て、続いて「鯛の浦教会」へ。旧教会堂は1903（明治36）年築。薄いサーモンピンクの板張りの平屋造り。被爆煉瓦の塔がのちに増築。新会堂建築後は、図書館や資料室として使用されていました。

バスは、赤尾集落へ。この辺りの民家は石の集落と呼ばれていて、家の腰板部分が五島石で造られている。もう少し進むと友住集落へ。石畳が敷かれた道、石塀、石階段など石の文化と産業の説明を伺いながら行く先は「頭ヶ島教会」

「頭ヶ島教会」は、1919（大正8）年築の石の教会。鉄川與助作。国の重要文化財。資金難で工事が中断し、出来上がりに9年かかったとのこと。信者さん方が友住の石を山から切り出して運び、積み上げたというまさに手作りの教会である。石には寸法が書かれた刻印がある。外面の堅いイメージとは違い会堂内は、お花の装飾が柔らかな印象を与えていました。



頭ヶ島教会

持ちこたえてくれたお天気もここまで。ハプニング発生！強風、荒波のため乗る予定の高速艇が長崎から有川港に来ることができないという。そこで奈良尾港に停泊している便を確保していただき、お昼ご飯のあと無事長崎行きに乗ることができました。この旅の間、丁寧でかつ解りやすく教会のこと、隠れキリシタンの歴史と背景、島の暮らし等レクチャーしてく

ださった高橋さんともこの港でお別れです。

長崎港でフェリーを降りると解散。私たち夫婦は、もう二泊長崎に滞在。大浦天主堂へ向かうとまさに「信徒発見153年目のミサ」の日でした。清水さんご夫妻と、旅で一緒だった方と共に夜のミサに参加し「サンタ・マリアのごぞう（御像）はどちら？」と聖歌を歌い、祈りの時を持ちました。

次の日、行くところは外海。長崎からバスに乗り継ぎ1時間半。出津教会とド・ロ神父記念館へ。かつて隠れキリシタンだった人々が、夢と希望を抱き手漕ぎの船で向かった五島。はるか水平線に見える島影を頼りに向かった五島。すべてのはじまりの場所をどうしても見ておきたかったのです。

再び長崎市内へ戻り、二十六聖人記念館へ。五島列島で何度も出会った聖ヨハネ五島の像とまた再会。隠れキリシタンの歴史はあまりにも哀しい歴史でした。だけど決して揺らぐことのない信仰の強さ、人の心の強さがそこにはありました。どの教会も美しく、そこに佇んでいました。風の強い高台の上、静かな岸辺にありました。木造だったり、石造りだったり、煉瓦造りだったりと様々な建材で建てられていました。訪れたすべての教会で祈りを捧げました。平和で心安らかでありますようにと・・・。

今年も シンポジウム at ヴォーリス六甲山荘 開催します

アメニティ2000協会はナショナル・トラスト運動を活動のひとつの柱にしています。この運動が日本でより広く理解され、定着し、貴重な文化遺産を保護していく心を市民が共有することが協会の大きな目的でもあります。その端緒として2016年から開催しているシンポジウムは大変有意義な会だと評価をえています。今年もつぎのように開きます。

月日： 8月20日（月）～22日（水） 場所： ヴォーリス六甲山荘
テーマ： 「ナショナル・トラストの可能性 Part 3」
内容： ・ 講師の講演、研究発表、パネルディスカッション、ワーク

詳しい案内は5月末に総会資料と一緒に送ります。



ご報告 六甲山荘作業 3月24日（土）

恒例となった三井住友信託銀行から若いボランティアが大勢参加し、また東京からJapan Heritageのメンバーが3名参加と、にぎやかな作業となりました。屋内を磨きあげ、庭の落葉掃き、屋根の上にもあがって掃除と、公開に備えて山荘はすっかりきれいになりました。

<参加記> 谷郷 美佳（三井住友信託銀行ボランティア）

先日、ヴォーリス六甲山荘の清掃活動に参加させていただきました。私は今回が初めての参加です。

冬を越え、春のオープン控え六甲山荘の室外清掃と室内清掃を行いました。私は室内清掃を担当し、床拭きや窓拭き、ベッドメイキングを行いました。歴史的建造物のお掃除はとても光栄なことですが、同時に身が引き締まる思いでした。これから六甲山荘を訪れる方々に喜んでもらえるように隅々まできれいにすることを心がけました。一方、室外清掃班では、男性陣が大量の落ち葉を集めて燃やしました。今回は屋根の上にも積もった落ち葉の掃除にもチャレンジしました。最初は恐々としていましたが、専用の地下足袋を履くと安定したのか、サクサクと落ち葉を落としていました。屋根の上から綺麗な景色を眺めながらの作業は、爽快な気分だったそうです。

室内清掃がひと段落すると、昼食の用意をお手伝いしました。みなさんととても手際が良く、テーブルに乗り切らないほどの、色鮮やかな料理を次々に用意してくださいました。

室外清掃班の作業も一段落し、昼食の時間になりました。疲れた体が癒されるような、温かく美味しいお料理に加え、協会の方との会話も弾み、とても楽しい時間を過ごすことができました。

このような素晴らしい経験をさせていただき、協会の方には深く感謝しています。今後もできる限り保全活動に参加し、このヴォーリス六甲山荘の伝統的な建築や自然の素晴らしさを多くの方に知ってもらいたいと思います。



ご報告 六甲山荘公開準備&スタッフ研修 3月31日（土）

飯畑正一郎さんの指導でスタッフ研修を行いました。はじめて研修を受けるメンバーにとって大変有意義な研修だったと思います。24日に作業をしたばかりなので、公開準備もスムーズにすみました。

ヴォーリス建築文化全国ネットワーク大会

ヴォーリス建築の所有者やヴォーリス建築のファンが作っているネットワークの第12回大会が大阪で開かれます。

月日 **6月9日(土) 10日(日)**

場所 大阪女学院高等学校校舎・ホールチャペル (右写真)

内容 **10日** 総会

フォーラム 講演会 13時30分 宮本又郎氏 (大阪大学名誉教授)
報告会 15時30分

見学会 大阪女学院ホールチャペル

交流会 17時 KKR ホテル大阪

9日 見学会 13時 日本聖公会聖贖主教会、日本基督教団大阪教会、大同生命ビル (外部見学)

前夜交流会 17時30分 ビヤレストランニュー東京 梅田店

参加費 総会：無料 フォーラム：1,000円 交流会(10日)：7,500円 見学会(9日)：1,000円



参加ご希望の方はアメニティ2000協会にご連絡ください。協会からまとめて申込みます。詳細は5月末に総会資料と一緒に送ります。ホームページにも掲載されています。

ご報告 2018年上期セミナー第1回 4月21日(土) 草志舎

六甲山荘をはじめとするヴォーリス建築を、瓦、タイル、雨戸などのポイントからその特徴などについてのお話しでした。知っているようで知らないことが多く、これからガイドをするうえでの財産になる内容でした。



ご報告 畑儀文の合唱教室 4月23日(月) 草志舎

新しい年度も美しいハーモニーとあたたかい人の和の教室がはじまりました。和気あいまいの楽しい時間です。初めての方もどうぞご参加お待ちしております。

ご報告 和のこもの展 4月25日(水) 26日(木) 草志舎

開場前から行列ができる人気ぶりでした。今年は押し花作品がないかわりに、バッグ類が多く、着物地や帯を上手につかったおしゃれな袋物に目をうばわれました。芦屋クローバーからは売り上げの20%をご寄付いただきました。毎年多額の寄付をいただき、ありがたいことです。お昼ごはんも2日間で80食ほどが売れました。買い出しから調理、サービスにがんばってくださった皆さん、ありがとうございました。

お昼ごはんメニュー：てまり寿司、タケノコ木の芽味噌、花豆、フキときくらげの炒め煮、すまし汁



六甲山荘たより

春の公開を前に3月22日に水道を開栓しました。今年の冬は寒さが厳しかったので、無事水がでるか心配でしたが、水道も温水器もトラブルなく復活しました。24日に大掃除、31日にスタッフ研修を行い、4月1日(日)から一般公開を始めました。初日の来場者はなんとゼロ!めずらしいことです。8日(日)には12人が来られましたが、あいにく山の上は寒く、春着の皆さんは震えておられました。山はとくに夕方になると気温がぐっとさがります。油断大敵です。この便りが皆さんに届くころは初夏のさわやかな日が続く、気持ちのいい時をすごせるでしょう。

募金のご報告～2月3月

2月、3月に次の方々から募金をいただきました。

ありがとうございました。(敬称略)

<六甲山荘屋根葺替え資金>

《2月3月合計 97,000円 2017年度累計 1,252,328円》

<一般資金> 募金箱 4,400円

《2月3月合計 4,400円 2017年度累計 546,983円》

*文化遺産継承基金

《2月3月合計 101,400円 2017年度累計 1,799,311円》

手作りマーマレードはいかが？

中嶋さん(熊本)の甘夏を使って今年もマーマレードをつくりました。もちろん添加物、保存料を一切使わない本物の味です。パンにもヨーグルトにもぴったりです。冷凍保存して六甲山荘でも販売しますが、ご希望の方にはお預けします。価格は1グラムあたり2円。(1瓶300円前後)どうぞお試しください。

皆さんからたくさんのガラス瓶をご寄付いただきました。ありがとうございました！

総会準備のスタッフ募集

5月19日(土)に総会がありますが、その準備のスタッフを募集しています。総会資料をまとめたり、宛名ラベルを貼ったりと簡単な内容ですが、全会員宛てなので量が多いのです。一部の時間でも結構です。おいでになれる方はご連絡ください。

5月14日(月)～18日(金) 午後1時～5時

場所はさくら荘102号室(阪急西宮北口駅から徒歩3分)
はじめての方にはアクセスをお知らせいたします。

五島の旅の思い出



五島の海と島



旧五輪教会(重文)



桐教会